

「沈黙を破って」から1年ー

2015年は統一家にとって激動の年でした。

真のお父様の聖和から3年が経ち、世界平和統一家庭連合（以下、家庭連合）は、地上において韓鶴子お母様を中心として、大きな改革を成されてきました。天一国の三大経典や天一国憲法の頒布など、皆様の記憶に新しいでしょう。

しかし一方では、真のご子女様を目にする機会が減り、特に亨進様や国進様がどこで何をしていたのか、気に掛かった方が多くいらったことと思います。亨進様は2015年1月にサンクチュアリ教会において、「沈黙を破って」という説教を開始され、これが今日、韓鶴子お母様や家庭連合から多くの批判を呼ぶことになりました。それはなぜでしょうか？

それはあまりにも衝撃の大きい、受け止め、受け入れるには大変心痛い心境を通過せねばならない、苦痛に満ちた内容であり、真のご家庭が経験された内容でした。私たちはあまりにも多くのことが分かっていませんでした。

いま家庭連合は「亨進様は、お母様は失敗された、墮落されたと主張されており、サンクチュアリ教会にはお父様の写真しかありません」と述べ、亨進様及びサンクチュアリ教会を批判しています。しかし、それは正しい情報ではありません。亨進様からどうしても皆様にお伝えしなければいけない内容があり、それが深刻なのです。

これを聞いてどう判断するかは、もはや個人に委ねられています。皆様がたとえこの話を馬鹿らしく感じたとしても、家庭連合からの正しくない情報を元にした判断をされることのないように心から願い、ここに全ての情報を掲載致します。



目次

お父様に対する不信	・ ・ ・ ・ ・ p3
「六マリア」問題	・ ・ ・ ・ ・ p3
お父様には原罪がある	・ ・ ・ ・ ・ p4
お母様の不従順	・ ・ ・ ・ ・ p6
私のお陰で王宮ができた	・ ・ ・ ・ ・ p6
お母様の恨（ハン）	・ ・ ・ ・ ・ p7
お母様は墮落された	・ ・ ・ ・ ・ p8
それをしたら真の母になれない	・ ・ ・ ・ ・ p8
病院での深刻な対立	・ ・ ・ ・ ・ p10
お母様の秘密と復讐心	・ ・ ・ ・ ・ p12
お母様の殴打事件	・ ・ ・ ・ ・ p13
追放された亨進様	・ ・ ・ ・ ・ p14
サンクチュアリ教会の出発	・ ・ ・ ・ ・ p15
誰にも相談しない絶対権力	・ ・ ・ ・ ・ p16
文亨進世界会長の解任	・ ・ ・ ・ ・ p17
幹部たちの罪	・ ・ ・ ・ ・ p18
亨進様に働かれる真のお父様	・ ・ ・ ・ ・ p19
お母様の失敗	・ ・ ・ ・ ・ p20
偽りの祝福式	・ ・ ・ ・ ・ p21
祝福家庭と二世の消滅	・ ・ ・ ・ ・ p22
お母様の失敗を蕩滅復帰されるヨナ様	・ ・ ・ ・ ・ p22

宣布による勝利圏の保護	・ ・ ・ ・ ・ p23
悪に立ち向かう亨進様	・ ・ ・ ・ ・ p24
最後に	・ ・ ・ ・ ・ p25

参考資料：

日本サンクチュアリ協会ホームページ
<http://www.sanctuary-jp.org>



日本サンクチュアリ協会アーカイブ
<http://wpus-jp.xsrv.jp>



合同ニュースブログ
<https://nqj17437.wordpress.com>



エルダー世界宣教本部長のブログ「質問にお答えします」
<http://worldmissionhq.muragon.com>



お問い合わせ：

日本サンクチュアリ協会ホームページより、
「救命ボート」をご覧頂き、最寄りの各地区の教会宛にお問い合わせください。

お父様に対する不信

亨進様は説教で以下のように語っておられます。

“ある日ご父母様が暖炉の前で座っておられて話されておられました。お母様はお父様に「あなたも原罪を持って生まれて来たのでしょうか」と言われました。お父様はただ唖然とされ驚かれました。お父様はお母様に「離婚するぞ」と言われました。”

(亨進様 2015.3.15)

お母様がお父様に「あなたも原罪を持って生まれてきたのでしょうか」という質問をされたということは、お母様がメシヤとしてのお父様を不信しておられるということです。お母様はご聖婚されて以来52年間お父様に侍り、その生活の一部始終をくまなく目撃された、唯一のお方です。誰よりもお父様を知り理解しておられる筈のお母様がなぜ、お父様の無原罪を疑われるなどということが起こり得るのでしょうか。お母様からそのような質問をされるとは、お父様はどれほど驚かれ落胆され、また憤慨されたことでしょうか。私達にはお母様がお父様を不信されるなどということはあまりにも信じがたいことで、お母様に何が起きたのか全く分らずに混乱するだけです。

全ての教会員は統一原理に感動してこの道に來ました。統一原理の結論は再臨主は文鮮明先生であるということです。もし、ある教会員がお父様に原罪があると考えようになったなら、その人にとってお父様は再臨主ではなくなり、教会を去ることになります。お母様がメシヤとしてのお父様を不信され

るのであれば、それはお母様はお母様ではなくなることを意味します。お母様との会議の場でも、以下のようなことがあったそうです。

”ある日、お母様との会議で再びお母様はお父様は原罪を持って生まれられ、私は無原罪で生まれたということについての話をされたので、私は強く懇願しました。「お母様、その話は止めて下さい。そんなことは絶対に言わないで下さい」”

(亨進様 2015.3.15)

「六マリア」問題

なぜ、お母様はお父様を不信されるようになったのでしょうか。主要な原因は「六マリア」問題にあるとのこと。

“ソウルでお父様の自叙伝を出版した時のことを思い出します。大きな会場で二、三千人の人が集まりました。会場はソウル市内ですがどこだったか覚えていません。リトル・エンジェルス公演もありました。自叙伝の出版記念会でした。韓国全国で書店売上No.1にもなりました。その盛大に行われた出版記念式の午餐会の場で報道各社、VIPもずらりと並ぶ中、お父様のスピーチの番が來ました。(中略)そして、4大聖人の妻達を呼んで前に來させました。イエス夫人、ブッダ夫人、ムハンマド夫人、孔子夫人、全てです。お父様は、自叙伝はご自分の生涯路程の80%しか書いていないとおっしゃり、4大聖人の妻を前に出されました。

皆さんは御存じないでしょうが、それらの婦人は六マリアだった方達です。誰も悟りませんでした。そして、教会指導者はこれを恥だと思って話そうとしなかったのです。お父様は「きょう、神様を解放しなければならない」とおっしゃって、彼女達をステージに呼んだのです。私は「ああ、どうしよう。メディアにどう説明すればいいだろう」と頭を抱えました。イエス夫人、ブッダ夫人、ムハンマド夫人、孔子夫人が登場したのですよ。私は当時世界会長でしたから、インタビューに答えなければなりません。”

(亨進様 2015.5.10)

私は「六マリア」問題については、お父様を攻撃するための共産党の捏造話だろうぐらいにしか考えていませんでした。しかし亨進様は「それらの婦人は六マリアだった方達です」と明言されました。「六マリア」とはお父様の妾（めかけ）ということです。すなわち、お母様がお父様の本妻であり、その他に妾が何人もいたということです。

お母様がお父様を不信されるという、このあり得ない重大問題を私達が理解し、乗り越える為には、もうひとつの難題である「六マリア」問題を乗り越える必要が生じてきました。拉致監禁された教会員に対し、その信仰を打ち砕く為に反対牧師が聞かせる最初の話が、この「六マリア」問題だといいます。

モルモン教では19世紀末まで啓示に基づくという彼らの教えに従い、一夫多妻制を実践していたそうです。そして、創始者であるジョセフ・スミスには40人の妻がいたことを、昨年モルモン教会の関係者が公式に認めたとの報道がありました。亨進様はそのタイムズの記事を紹介して、以下のように語られました。

“私がこの記事を読んで気付いたのはその類似点です。現指導部はお父様を見てその過去を消そうとしているのが分かります。完全無視、説明なしです。若者がネットで見て質問しても「そんなことは知らない。そんな質問はしてはいけない。そんなこと考えないで、ブログも見てはいけません」と取り合わない。お父様が行かなければならなかった路程が恥ずかしいのです。(中略)モルモン教は200年間にわたって教祖に絡む問題を隠そうとしてきました。今でもその問題に対処しようとしています。決してそこからは解放されないのです。決して消え去ることはありません。(同じように私達も隠してきました)だから私達に力が無いのです。

私達がそれに向き合い、直視し、サタンにきっぱりと、これは神様によって定められた路程であり、人類救済のためにその道を神様は行かなければならなかった。そして、その基台の上に今の祝福家庭とお母様が立つと、言い切らなければならないのです。しかし、それを覆い隠そうとすれば、今後200年、2000年の間、その問題と闘わなければならないでしょう”

(亨進様 2015.5.10)

亨進様が「六マリア」問題について話をされた時、教会員の反応は3種類に分かれたそうです。

“人々の反応は3種類に分かれました。一つは「狂気の沙汰だ」「そんな話は聞きたくない」「私にそんな話をしないで下さい」「どこかに隠しておきなさい、聞きたくもない」これが一つのグループです。完全拒否です。触れることも見ることもしようとししない人達。また別のグループは、「キリストの花嫁」「六マリア」などを聞いて心底から理解したい、納得したいという人達

です。お父様はお父様のままで、お父様が語られたまま理解したい、そういう人達です。

最後のグループは即座に分かってしまう人達。霊的体験を重ね、聖霊の訪れを受けて直ちに納得する人達です。驚くべきことに、聖書には最後の日に小麦ともみがらに分けるとあります。全てが明らかになるのです。あなたがどんな人間で何を信じているのかが、はっきり現われるのです。”

(亨進様 2015.5.10)

お父様には原罪がある

亨進様が語られたことで、これから「六マリア」問題は次第に表面化していくと思います。その時、教会員がどのように受け止め、考え、判断するのか、進む道がいくつかに分かれるでしょう。では、お母様ご自身は「六マリア」問題に関してどのように対処されたのでしょうか。

“考えてみて下さい。他に説明がありますか。誰も説明できないでしょう。六マリアとは何だったのか全く分からないでしょう。むしろ話さないようにして来た。説明できないのです。唯一の説明は、現指導部が最近言い始めた、「お父様は肉体的な弱さを持っておられ、いくつか過ちを犯された。それを真のお母様が救済された」というものです。皆さんにはお分かりではないでしょうが、このことが現在のお母様の問題の核心、根本、根源です。

お母様がお父様に嫁がれた時、お父様はお母様に六マリアについて、はっきりと説明されました。そして、お母様はこの路程を歩むことに同意された

のです。しかし、時の流れとともに数十年が経過するうち、お母様の中で別種の考えに変化して行きました。それは何でしょう。「私がメシヤだ」「私がお父様を救った」「私が純潔であり、お父様を救ったのだ」ここから現在の「独生女」発言があり、今、お母様はメシヤ、神になろうとしています。”
(亨進様 2015.5.10)

お母様は、「六マリア」の存在はお父様の肉体的な弱さが原因であるとお考えになったそうです。そして「お父様には肉体的な弱さ、すなわち原罪があり、純潔である自分がお父様を救ったのだ、自分こそ無原罪である」というお考えになられたというのです。このことでお父様を責められることもあったそうです。

“これこそ、お母様がお父様から離れる根本原因になったからです。これが核心です。子供として見てきたのです。ワシントンDCで口論されたことがありました。お母様がこの問題を持ち出されました。そしてお父様を責められました。「私があなたを救い出さなければ異母兄弟が大勢できたことでしょう」”

(亨進様 2015.5.10)

お母様の不従順

亨進様は、お母様のお父様に対する姿勢について以下のように語られました。

“数十年間、私達を育てながら、お父様がオモニを困難な状況に置かれて従って行くことが大変なたびに「お父様は何故これほどまで私を苦しめるのか」いつもこれでした。このような文化を作ったから教会に悪い文化ができました。お父様の一番重要な相対がそのような文化を創れば、それが反復されていったら、お父様を見れば皆が「お父様は悪い人だ、私達を苦しめる人だ」と考えるしかありません。

キリストの夫人、新婦の長の責任は困難な時でも、いつもキリストを高めなければなりません。お父様は平安と全ての様々な贅沢な環境を与えて下さったのに。お父様は個人的な用事ではなく全ての食口達を生かそうと、一人ひとりを生かそうと12時間20時間とお話されたのですが「ああ、また約束を守られなかった、私はまた一人で食事して眠らないといけない」と考えました

このように魂の苦悩があるたびに韓氏オモニがどのような習慣を作ったかという「お父様が私を苦しめている」と考える習慣。「私」を中心として考える習慣。キリストの夫人、新婦の長の立場でありながら「自分がとても大変だ」と考える文化。ですから真の家庭もそのような偽りの文化を学びました。「ああ、自分はとても大変だ、苦しい」という偽りの文化。そして、2世達も幹部達も偽りの文化を学びました。分かりやすく言えば、内密にお父様を刺して批判している文化、キリストを憎んでいる文化です。”

(亨進様 2015.7.22)

お母様はお父様に従順にお仕えなされ、勝利して来られたと理解していた私にとって、初めて知るお母様のお父様に対する日常の不従順な姿勢、言い替えれば不平不満です。お母様がメシヤとしてのお父様を不信されるようになったもうひとつの原因が、お父様へのこの不従順な姿勢にあるということができるとでしょう。

私のお陰で王宮ができた

そして、「天使長」と亨進様が表現される幹部達は、苦悩されるお母様を見て、信仰的に正しい方向に導くのではなく、そこに付け込んで、お母様をお父様から離れるように惑わしたとのことでした。

“私はお父様の「六マリア」を恥じません。(中略)天使長達は全てを知っていたにもかかわらず、誰も話さず、理解もしていませんでした。彼らには真の意味の苦悩が分からないのです。天使長は必死になって、お母様を何とかしたくて、あなたは原罪なく生まれたのです、お父様にはあるのですと語っていました。(中略)

お母様は真の母の立場です。お母様の周りには責任があります。私はお母様のお世話をしている姉妹達に言いました。お母様が悲しまれ泣かれている時は、同情してお母様を犠牲者のように扱うのではなく、お母様は真の母でありメシヤであるお父様のもとに戻られるように助け、思い出させ、お母様に対してありがとうございます、このような苦悩、苦勞の道を行かれていることに感謝の言葉をかけなくてはなりません。

しかし、天使長はかわいそうなお母様、犠牲になられているお母様をかわいそうだと言いながら、サポートします、助けますと言いながら、お父様から離れる方へと惑わしました。”

(亨進様 2015.3.15)

お母様がお父様を不信されるようになった3つ目の原因が、お母様を惑わしたこの天使長の存在です。お母様は祭り上げられてしまいました。

“私達はお母様が70年代、80年代に若くて美しいお母様が、お父様と共に歌を歌っている姿を思い出します。お父様とお母様が一緒にいる姿はとても美しいものでした。そのころ、お母様はお父様に対して従順でしたし、お父様を中心として生きておられました。本当にそのようにされていました。

そのようにして、お母様の座を狙う多くの人達がいるとしても、難しい状況を克服して来られました。お父様は、もしお母様が失敗したら新しい人がお母様になるだろうと何回も言われました。お父様はこのことを、ベルベディアで何十回も言われました。

しかしその後、私達は大きな変化が起こったことを目撃しました。天正宮が完成してから金孝南さんが大母様の霊媒をしながら、お母様を自分の道具のように利用しようとしていました。(中略)天正宮が完成してからそれ以前と精神的な雰囲気が変わってしまったことを感じました。それは「私がお父様を作った」というような雰囲気でした。「私がこの栄光を作った。この勝利は私だから可能だった」というものでした。「この王宮は、私の血統が良いからできたのです」という雰囲気です。”

(亨進様 2015.3.29)

“亨進様と国進様の証言によると、韓鶴子お母様はお父様に対して頻繁に「私のお母さんが役事したおかげで、こんな立派な宮殿ができた。私のお母さんがいなければ、あなたはみすぼらしいメシヤにとどまっていただろう」と言われていたそうです。”

(サンクチュアリ教会 2015.6.14)

お母様の恨 (ハン)

お母様にはお父様への恨があったそうです。亨進様はお母様にこの恨をお捨てになるようにいろいろな方法で何度もお願いをされましたが、お母様を持ち上げる取り巻きのせいで効果がなかったと語られました。

“お母様と直接差し向かいで話をした時、私は言いました。「お母様、お母様の恨を解放しなければなりません。恨を取り除いて下さい。お父様と一緒に暮らすのは大変な方であることは私は知っています。でもそれがお母様の使命であり、真の母、真の花嫁としての役割です。いかなる試練が来てもその場を守られることが母の崇高な使命です。お母様、あなたは恨を解放して下さい。そうしなければ、それがあなたを殺すことになります。

韓国のメンバーは知ってますよね「恨み解き (ハンプリ)」、お母様は恨を晴らしておられると。これは天国の道ではありません。だから私達は、真実を話さなければなりません。今この時に、聖霊をもって話さなければなりません。私は個人的なルートでやりました。また、裏舞台のルートでやりました。

た。また、天正宮のルートでやりました。しかし、それはお母様に全く効果がありませんでした。いつも私が語る時、50人から140人の幹部、側近達が、お母様あなたがなさっていることは正しいことです。あなたは偉大です。あなたは神様ですと、再び言葉を差し上げるからです。”

(亨進様 2015.3.29)

お母様は墮落された

亨進様が「お母様は墮落された」と主張される理由は以下です。

“サタンは「あなたは神のようになれるのです」とエバを誘惑しました。これが霊的墮落です。エバはサタンの誘惑に負けて「私は神様のようになれる」と思ったのです。サタンは、「もし、あなたが私と同じ立場に立つなら、あなたを神にしてあげましょう」と言いました。サタンは大きな力を持っているので、サタンと同じ立場に立てば、私は神様になれて、みんなが私を拜むでしょうとエバは思ったのです。

これは天使長達がお母様に与えたと全く同じ誘惑なのです。天使長達は「あなたは神になれる。あなたは神です。あなたはメシヤです。あなたは神様の一人娘です。あなたは女神です」とお母様を誘惑しました。これはエバがエデンの園で受けたのと同じ誘惑です。

私はこのことを3年前から知っていました。私はお母様と話をしていました。

お母様は私に「私は誰だと思えますか」と尋ねました。

私は「あなたは勝利された真のお母様です。再臨主の妻です。あなたは地上で最も貴重な人間です」お母様はそれにこう答えました。

「それは違います。私は神です」

私はとても驚いて「お母様、それは違います。あなたは神ではありません。もしあなたがそんなことを言えばそれは否定されるでしょう」と言いました。

これは完全にサタンの主管を受けているということです。「私は神のようになる」これは霊的墮落と同じです。これはとても悲しいことです。これは本当につらいことです。”

(亨進様 2015.4.12)

それをしたら真の母になれない

お母様がお父様に不従順であるという段階を越え、「私がメシヤである。私がお父様を救った」と考えておられる状況は、内的に主管性転倒状態にあるということができると思います。そして、このようなお母様の状態においてなお、お父様はお母様をお立てになり、真のご父母様としての数々の勝利宣言をなして来られたことも事実です。内的主管性転倒が、お母様がその位置を失う程の失敗であるとは、お父様が見なされなかったからと考える他ありません。しかし、お父様にとってその忍耐の限界が2012年1月19日に極まったようです。その日の訓読会の時、お父様はお母様を厳しく叱責され、お父様への絶対服従をお誓わせになりました。

“2012年1月19日にお父様は次のように言われています。

「天地人真の父母は、お父様とお母様という2つの存在ではなく1つです。お母様はお父様の足場であり、ただお父様と一緒に食事をし、お父様に付いて回るだけでは、自動的に真のお母様にはなれません。お父様と別々に行動すれば、破滅であり死である。お父様に応えず、ただお母様の回りにいる者は悪者である。安州（お母様の故郷）と韓氏族を自慢するな。それをしたら真の母になれない。お母様は妖怪のように自分の道を行っている。お父様と同じ道を進んでいない。（真の子女、補佐官達、教会指導者の個人名をあげて）お前達悪党はお母様に従うことで、私とは別の道を歩いている。この悪党達。お母様に従い、お父様はいらないと考える者は根のない妖怪だ。天のお父様だけが孤独なお父様と共におられる。お父様の言うことを聞かず、お母様の言うことを聞けというのは、ルーシェルより恐ろしい。私は独りぼっちだ。息子も娘もいない。お母様は自分の好きなようにしている。孝進が生きている時、私にこう言った、「お父様がお可哀そうです。なぜ、お母様はお父様の言うことを聞かず、自分勝手にするのでしょうか」」

お父様は、「たった今から、お母様はお父様に絶対服従しなければならない」と宣布されました。それから、お父様は隣に座っているお母様に、お父様の正面に立つように命じられました。お父様はソクチュノ、ファンソンジョ、ユンジョンロ、キムヒョンユルをお母様の後ろに並ばせて、参加者全員と共に拳手して服従を誓うことを命じられました。お父様は繰り返し、お母様に「イエー」と返事するように命じられ、そして、参加者全員に手をあげて拍手させ、お父様の意思を理解した証とされ、この特別な儀式を終えられた。

これを読む（聞く）と皆さんは墮落した教会の状況が分かるでしょう。お父様の言うことを聞かず、お母様の言うことを聞けというのは、ルーシェルより恐ろしいというのです。”

（亨進様 2015.9.27）

お父様は「お母様は妖怪のように自分の道を行っている」とご指摘になり、お父様への絶対服従を命じられ、お母様及び幹部達は絶対服従を誓いました。

お父様は「栄光の王冠」に、「私が人を疑う時私は苦痛を感じます。私が人を審判する時私は耐えられなくなります。私が人を憎む時私は存在価値を失ってしまいます」と記されました。お父様は人を疑うことができないお方であることが分かります。お父様はご自分が命じられたお母様の誓いを絶対的に信じになり、これ以降、お母様を疑われることはありません。

また、「安州と韓氏族を自慢するな。それをしたら真の母になれない」と語っておられますが、この時点でも、お母様は真の母として完成完結完了されておられる訳ではないことを知ることができます。もしこの先、お母様が安州と韓氏族を自慢することにより、お父様と別の道を行かれるようになれば、その時には、真の母ではなくなるということです。

“2014年7月1日天正宮訓読会でのお母様のみ言より

「あなたがたの前に座っている私、真の母は、6000年後に誕生した神の独り娘です！これは説明が出来ます。私は証すことのできるものを持っています。私が生まれた時、サタンは私を殺そうとしました。私の誕生を通して、サタンは滅びるようになっていました。それで、サタンは私を殺すことに集中していました。これは、天が韓民族を通して摂理歴史を導いていることを意味して

います。『韓』という言葉はなぜ大韓民国に出てきましたか？ 摂理歴史において、韓王朝はアジアの主人でした。彼らは東からの人種、韓の人種です。神はこの民族を選び、彼らを育てました。（中略）

神は、私の家系を通して天の息子を送ると約束されました。あなたがたは私の先祖についてのこの話を聞いたことがあると思います。3枚の硬貨のゆえに天は息子の代わりに天の娘を送ることになりました。あなたがたはその話を知っていますか？ これは伝説ではなく事実です。（中略）私の母の子宮から、血統を転換するプロセスは起こっていました。これは、あなたがたが信じる必要があるものです」

これは安州（お母様の故郷）と韓氏族の自慢ではないでしょうか。お父様はこの2年半前に以下のように言われました。「安州（お母様の故郷）と韓氏族を自慢するな。それをしたら真の母にはなれない」”

（サンクチュアリ教会 2015.9.28）

病院での深刻な対立

お父様はお母様を絶対的に信じながら、この日から約7ヶ月後にご聖和されました。そして、お父様が危篤状態の病院で、お母様と亨進様が対立する深刻な事態が持ち上がりました。

“3年前、私達は病院で大喧嘩をしていました。清平の女がお母様を洗脳して、お父様の生命維持装置を取ろうとしていました。それは、私が世界教会に対して、奇跡が起こるのを願って、お父様の為に祈りや敬拜の条件を立てて下さ

いという公文を出している時でした。全世界の教会がこのような条件を立てている時、彼らは生命維持装置を取ろうとしていました。病室の中には世界のトップリーダー達がありました。そこには朴ポーヒー、金ヨンイ、金孝南…、と私と国進兄さんがいました。義理の娘達はそこに入れてもらえませんでした。その時、お母様はお父様の生命維持装置を取ろうとされました。私は「お母様、あなたはそれをする事ができません」と言いました。そうしたら、お母様は私にビンタを喰わせました。私はお母様に「もし、あなたがそれをすれば、あなたは殺人者になります。50年間の苦労を無駄にしないで下さい」と言いました。朴ポーヒー以外の全ての36家庭のトップリーダー達は、全員、黙っていました。その中の1人は「皆、いつかは死ぬからね」とまで言いました。私はそれを、私自身の目で見ました。彼らは「お母様、それをしないで下さい」と言う代わりに、ただ、次のステージへの政治的な判断をしたのです。”

（亨進様 2015.7.5）

以下は、同じ場面に関して、ヨナ様が語られたものです。

“お父様は、生命維持装置でつながれていますが、お父様には意識がありました。

だから、亨進様、国進様の意見は「私達は、お父様が自然に亡くなられるようにすべきです。私達にはそれができます」

しかし、お母様と訓母様はとても強く主張されました。訓母様は「孝進様、興進様、栄進様がここに来ておられ、彼らは霊的に来られ、お父様を迎えたいがっておられます」と語り始められました。

亨進様はお母様にプライベートに話されました。お父様は5階の部屋で、私達は10～12階くらいで、そこには小さな部屋がありました。私達はそこに連れられて行き、そこから、私達はお父様のおられる階へ、いつでも降りていくことができ、常に誰かが交代で、お父様の病室に泊まりました。

それは適当な大きさの部屋で、小さな部屋とリビングルームがありました。その小さな部屋に亨進様とお母様は入って行かれました。彼らはこの事（プラグを抜くかどうか）について話されていました。すると、突然大きな叩く音が部屋から聞こえて来ました。それは、お母様はとても怒られて「あなたは何も知りません！」「あなたはまだ若すぎる！」というような意味の事を、私は正確には覚えてはいませんが、大きな音が聞こえて来て、私達はお母様が亨進様を叩かれたことが分かりました。私は、お母様が彼の何処を叩かれたのか分かりませんでした。彼が叩かれた明らかな音がしました。お母様は、亨進様のお父様への処置に対する「私達はそれは絶対できません」という強い反対が、気に入らなかったのです。

そしてその後、亨進様と国進様は長老達を呼び、訓母様やお母様がプラグを引き抜こうと思っていることに対して、どのように考えているのかを訊きました。亨進様と国進様は、これをやったら、あれをやったらとか、例えば何かマッサージとか鍼とか何かで、何とか命をつなげることができるのではないかと提案しました。でも、お母様は亨進様と国進様が語るいかなる提案にも非常に怒られました。そしてお父様はその後、清平に移されてから亡くられました。”

(ヨナ様 2015.10.25)

もし、とても大切な人が危篤状態にあり、生命維持装置によって生きているのなら、本当に絶望的状态にならない限り、生命維持装置を外そうとする人はいないでしょう。あるいは、たとえ医者から絶望的状态であることを告げられたとしても、絶対にそれを受け入れたくないというのが人情だと思います。

ところがお母様の場合には、信じがたいことですが、まだお父様の意識があるという段階で、亨進様と激しく争ってまで、お父様の生命維持装置を外そうとされたというのです。なぜなのでしょう。

“私は36家庭を呼んでほしいと言い、彼らに説得を続けました。そして、最終的にお母様は朴ポーヒー、李ジェソク、金ヨンヒ、ヤン・チャンシク、ソク・チュノ、金ヒョユル、金ヒヨナムと呼ばれ、彼ら一人一人に尋ねました。私（お母様）がお父様を解放してあげたいと、このチューブなどを全て取り除きたいと、唇の色が変わってきていると。”

(亨進様 2015.7.8)

訓母様は「孝進様、興進様、栄進様がここに来ておられ、彼らは霊的に来られ、お父様を迎えたがっておられます」と語られ、お母様は「お父様を解放してあげたい、このチューブなどを全て取り除きたい、唇の色が変わってきている」と言われたそうです。これらのことが、まだ生きておられるお父様の生命維持装置を外そうとされる、お母様の強い動機となり得るのでしょうか。

お母様の秘密と復讐心

亨進様と国進様はお母様を信じておられました。

“亨進様と国進様はお父様だけでなく、お母様も完全に信じておられました。もちろん、お父様とお母様の間で争いのようなことはありました。（中略）それでも彼らは、お母様は正しい決定をされていると、お母様を信じて行かれました。（中略）

その当時、国進様は、統一財団の責任者でした。彼はリーダー達を説得して、全てのものをお母様の名前にすることをされました。お父様が法的な実際の権限を持たれなくなって以来、国進様はお母様に完全に信頼を寄せられました。単なる言葉とか位置だけでなく50億円（注：実際は500億円）をお母様の元に置き、お母様はそのお金を宣教会財団として蓄えられました。

国進様は、お母様がお父様がおられない時にもリーダー達に頼み込む必要がないようにとのためです。国進様は本当に、お母様が内外とも勝利した真の母となれるように準備されていました。本当にその為に準備されていたのです。

だから、亨進様は説教の「バビロンの炎上（2015.9.20）」でミステリーのこと、彼女の額にミステリーと書かれてあると語られました。国進様と亨進様にはミステリーでした。お母様がこのようにされることは、全くのミステリーだったのです。彼らには確信することはできませんでした。お父様が入院され、お母様がプラグを抜かれようとされるまでは。その時まで、彼らは確信することができませんでした。”

（ヨナ様 2015.10.25）

亨進様と国進様は、たとえお母様に恨があり、お父様と言い争いをされることがあっても、お母様とお父様の間にはご夫婦としての信頼関係があると思っておられましたから、お母様を疑うなどということは考えられませんでした。ところが、お父様の意識がまだあるにもかかわらず、お母様が生命維持装置を外そうとされる信じられない事態が起きました。

これを阻止するために、亨進様は36家庭の長老達を集めて、その意見を訊こうとされました。亨進様は、長老たちは自分の側に立って、お母様に反対してくれるだろうとお考えになったのです。しかし、朴ポーヒー先生を例外に、全ての長老たちはお母様の意向に逆らうことはしませんでした。お父様が亡くなられた後は、全ての決定権はお母様にありますから、お母様の生命維持装置を外そうとされる強い意志にその場で反対をすれば、その後、必ず報復を受けることが分かったからです。

結果的には、お母様は生命維持装置を外すことを断念されましたが、この時のお母様のお姿を通して、亨進様は、お母様はお父様に対して本当のところはどのように思っておられるのか、その根底に何があるのかがはっきりとお分りになったのです。それは「復讐心」だということです。

“お母様は50年間この謎を隠していました。私達はお母様が痛みや恨みを持っていることを知っていました。しかし、私達はお母様がお父様に対してこのように復讐心を持っていたとは知りませんでした。”

（2015.9.13）

その復讐心はお母様の中で成長しながら、一方では自分こそがメシヤなのだという「自己崇拜」と表裏一体をなして大きくなりました。亨進様と国進

様はそのことに全く気が付きませんでした。だから、亨進様はそれを「ミステリー（奥義・謎）」と表現され、「心の奥底に大きな秘密があった」と語られました。

“これを誰が知り得たでしょう。奥義であったというのです。50年の間、お父様に侍り続けながら心の奥底に大きな秘密があったのです。その秘密とは何か。「お父様のために皆が集まると思いませんか。私がいるためにこの教会は滅びないのだ、私がいるから、この教会は成功しているのだ」バビロンの秘密です。「私が清い血統であるためにお父様を救った、お父様の淫行を防いだ」「実は私が独生女、メシヤ、神なのでお父様は成功することができる」という、このような秘密です”

(亨進様 2015.9.16)

“当時、私たちの誰もが全く気付かなかったのです。このバビロンの秘密に。誰もお母様が自分をそこまで自己崇拜していることを知りませんでした。それは文字通りサタンの秘密兵器だったのです。金孝南にそそのかされてしまったのか、もとから自分で思いこんでいたのか、それは分かりません。

ともかく、しばらく説得に全力を傾けた期間がありました。ある時は懇願し、またある時は制止しようとしてしました。しかし、もはや誰が何と言おうと一切耳を傾けられなくなりました。そして、お父様を否定するあらゆる変更を矢継ぎ早に繰り出すようになったのです。

あらゆる試みをしてきましたが、もはやそれを止めることはできませんでした。これは本当に深刻だ。これは大変なことになった。こう思うようになったのです。単に「怒れる女性」ではなく、その底流にメシヤ、お父様を消し去ろうとするある力を感じました。”

(亨進様 2015.10.25)

亨進様が感じられた「メシヤ、お父様を消し去ろうとするある力」、それがお母様の「復讐心」でした。

お母様の殴打事件

お母様が亨進様をはっきりと拒絶される行動が、お母様が亨進様の頬（ほほ）を打たれるという形で起きました。亨進様はお父様が任命されたお父様の代身者です。

“2009年の天正宮での、三度、神様王権即位式が行われました。世界各国の代表からのいろんな王冠、種族を代表しての王冠が捧げられ、八大宗教の代表がギフトを捧げました。私達夫婦はご父母様の後を歩かせられて、王冠式ではお父様から祝福を頂きました。この時にお父様から相続を受けました。この時の祝福は過去の人類歴史のどんな祝福よりも重要なものでした。お父様の祈禱を聞いてもらえれば分かります。

お父様は、再びセレモニーをされました。それで終わらず、お父様はまたその次の日も行なわれました。アメリカに飛んで同じセレモニーをマンハッタンセンターで行ないました。この時は2つの大陸で3つの違ったセレモニーをされました。お父様は世界、宇宙に対して宣言する為に何度も行なわれたのです。

(中略)

その後、2010年にお父様が宣言文を書かれました。「万王の王はお一人の神様、真の父母様もお一人の父母、万世帯の民も一つの血統の国民であり、一つの天国の子女である。天宙平和統一本部も絶対唯一の本部だ。その代身者・相続者は文亨進である。その外の人は異端者、爆破者である。以上の内容は真の父母様の宣言文である文鮮明印」

私自身が相続したものではありません。私自身が任命したものではありません。王の王であるお父様が成されました。お父様が私を代身者に、相続者に任命しました。お父様は名前だけでなく印を入れられました。王の印です。”

(亨進様 2015.3.15)

2009年1月15日・30日・31日の3度の戴冠式に先立ち、2008年4月18日に亨進様は世界会長に就任されました。この時、聖本を伝授されながらお父様は、以下のように祝祷されました。

“ここに文亨進、李妍雅（イヨナ）、二人の息子、娘が夫婦となり、きょう父母様の前に立って交代するこの転換式において、真の父母様に侍ったように、その侍った位置に全てのものを代身して迎えることができ、代身者、相続者の権限を受け継ぐこの場となるので、エデンの園において墮落していない息子、娘を祝福してあげ、感じるこのできなかった心情圏を再び受け継ぎ、第四次アダム圏の理想天国の時代として、解放釈放を自分の主張通りにすることができ、神様を中心として治めることのできる時代へ進入することのできる時代まで連結して下さることを、お父様、懇切にお願い申し上げます。”

(文鮮明・真のお父様 2008.4.18)

このように、亨進様にとって世界会長就任式がお父様の代身者となり、相続者の権限を受け継ぐ最初の間でありました。その後、3度の戴冠式を行われ、2010年4月23日に宣言文まで書かれました。お母様がお父様に絶対服従されるというのならば、お父様の代身者である亨進様に対して、慎重でなければなりません。

しかし、お母様が亨進様を怒りで打たれたということは、亨進様を受け入れないという拒絶の意思表示であり、それは2012年1月19日のお父様への絶対服従の誓いを、お母様ご自身が破られたということに他なりません。亨進様の頬が打たれる音は、隣の部屋のヨナ様も聞かれました。これは、モーセが怒りで、メシヤを象徴する岩を二打した事件を思い出させます。

追放された亨進様

この後、お母様は亨進様をご自分から遠ざけるように、アメリカに人事されました。以下、ヨナ様の証言です。

“全てのそのような試練の後、お母様は亨進様には韓国にいてほしくないと言われました。そして、お母様はお父様の聖和の後、突然連絡して来られ、今、仁進様の問題、スキャンダルが出てきたので、あなたが行かなければなりません。全てを正してこななければなりません。私は彼女を全ての責任位置から解雇し、「ラビングミニストリー」をストップしたので、あなた達はすぐに行って、全てを正しい状態に戻しなさい。

更にお母様は、3年間は帰って来てはだめですと言われました。彼女はとても強く言われたのです。非常に強く、3年間は帰って来てはだめですと。”

(ヨナ様 2015.10.25)

亨進様はアメリカ人事になるに伴い、韓国教会長の任を解かれました。

“どのように辞めさせられたかといえば、私達にピーターキムから電話が来て、あなたは韓国教会長の位置から解雇させられたということを伝えて来ました。そして、韓国教会の本部の職員が、「私は、この位置（韓国教会長）を辞めます」と書いてある、辞任のレターを持ってきました。（中略）亨進様はサインをしなければなりませんでした。それは、何か法的な書類であり、そこには「私は韓国教会長の位置を降ります」みたいな内容が書いてあるものでした。”

(ヨナ様 2015.10.25)

その他の役職も解かれていったそうです。

“アメリカに来て以来、徐々に一つずつ、解雇されていきました。私は一度、お母様が韓国から電話をしてこられたことを覚えています。

「あなたがアメリカに行って以来、あなたが韓国の世界宣教本部に仕えることができないので、その会長の位置を解雇します」

お母様はそのことで相談されませんでした。ただ一本の電話だけでした。「あなたは離れたところにいるので、私が決定しました。あなたは会長の位置を解雇されました。異議はないですよ」それだけでした。”

(ヨナ様 2015.10.25)

アメリカ教会長と大陸会長の任も解かれます。

“それは、2013年の真の神の日だったと思います。（中略）大きなセレモニーにおいて、清平の天正宮の地下で、多くのメンバーの目の前で、お母様は突然、アメリカの大陸会長は金起勲氏であると言われました。（中略）その後、私達は上の階に行き、お母様は言われました、これであなた達のアメリカでの使命は終わりました。このように、お母様が私達に伝えたのです。（中略）

私達がアメリカへ行った時は、アメリカの雰囲気は落ち込んだものであり、亨進様の就任式は行われませんでした。だから解雇のされ方も、このようなものだったかも知れませんが、それはとても異様な感じでした。そこには退任式もありませんでした。それで、私達が務めた期間は3ヶ月です。お母様が約束されたのは3年でしたが、この時3ヶ月で解雇されました。”

(ヨナ様 2015.10.25)

サンクチュアリ教会の出発

その後、亨進様ご夫妻はペンシルベニアに行かれ、そこでサンクチュアリ教会を出発されました。

“私達が最初にペンシルベニアに来た時のことを思い出します。その時は、ここには私と国進お兄さんしかいませんでした。そして、私達は深い悲しみに沈んでいました。なぜなら、私達は真のお父様の霊にお会いすることができたのですが、お父様はとても悲しんでおられたからです。

「誰が私の心を捜し求めているのだろうか」と探しておられたのですが、お父様はそのような人を誰も見つけることができなかつたのです。お父様が見たものは、誰が新しい指導部になるのか、教会の組織がどのように構成されて行くのかを見定めている人達だけでした。そして、「お母様と一つになって、お母様に従わなければならない」という指示だけを聞きました。お父様のことは誰も話しませんでした。

私達は嵐の中心にいた為に、それをより鮮明に見ることができました。私達はその状況を良く知っています。真の父母様と真の家庭を保護する使命のあった天使長達と指導部達が、自分達の権力と地位を守る為に、お母様をコントロールしてお父様を冒瀆するようにしました。

このような状況を考えて見て下さい。原理的な観点からこの状況を見て下さい。天使長達はお母様を自分達と一つになるようにして、お父様が任命された実の息子達を、お父様の伝統を捨てないという理由で追い出してしまったのです。”

(亨進様 2015.3.29)

“そこには私達家庭と国進様家庭しかいませんでした。初めの週の日曜日、礼拝をしたのですが、家の居間に何もなく、床が冷たかったので、青いビニールを敷いて国進様家庭と共に簡単に礼拝を捧げました。その時、私の心の中では涙があふれていました。お父様の伝統と栄光を高めるという大きな使命を持ってここに来たわけですが、一体どうやって、何から始めたらいいのか。この2家庭しかいないのに、お父様が真のカインとアベルとして立てて下さいましたが、ここでどうやって何を始めたらいいのか、本当に途方にくれていました。

その後、礼拝を公開し始め、食口達が三々五々来るのを見ながら、草創期当時、お父様はきつとこういう心情だったのだろうと、食口達一人ひとり、ただ来るのではなく、神様が送って下さっているのだと、本当に強い絆を感じ、お父様に対する深い感謝で一杯でした。”

(ヨナ様 2015.8.12)

誰にも相談しない絶対権力

お母様は「私は絶対権力を持っている」と叫ばれました。

“お父様の聖和の直後でした。天正宮の最上階のお母様の部屋での会話を忘れることができせん。会話の中で、私はこう言いました。「お母様は勝利された真の母であり、真のお父様の花嫁です」それに対して、お母様はこう言われました。「違います。私は神であり、メシヤです」「私は何でもできます」。お母様は「絶対権力」という言葉を用いました。「私は絶対権力を持っている」

想像してみてください。同じ部屋にいる自分の母親の口から「私は絶対権力を持っている」というセリフを聞いたのです。これを叫ばれました。その声は部屋中に響き渡りました。台所まで聞こえたでしょう。私の義理の姉もいましたが、彼女にもそれが聞こえたことは間違いありません。そのような信じられない光景が繰り返られていたのです。ドラマのワンシーンではありません。権力の虜になった女王が声を荒げて「私は絶対権力を持っている！」と怒鳴るのです。まるで映画を見ているようでした。”

(亨進様 2015.10.25)

お母様がお父様に絶対服従しておられるのなら、全ての決定は「お父様に相談し、その答えを聞いてからにしましょう」ということになるでしょう。お父様はご聖和されたとはいえ、厳然として霊界に生きておられるのですから、いつでも相談し、答えを求めることは難しいことではありません。「私は絶対権力を持っている」というのは、「誰にも相談する必要はなく、全てを自分で決める」ということであり、お母様の中にはお父様が存在しておられないということをご自ら明らかにしておられます。

文亨進世界会長の解任

2015年1月18日、亨進様は説教「沈黙を破って」を語られて、それをネット上に公開されました。そして続く2月8日、説教「天の宣布」で、韓国、日本、アメリカのリーダー達、全ての大陸会長、国家指導者達の解任を命じられました。

“真のお父様の後継者であり相続者である文亨進の権限で、万王のみ旨に逆らい、真のお母様を搾取して、神様を冒瀆し、破壊的な異端行為を行うリーダー達から、真のお母様を解放する為に、全ての摂理機関のリーダー達の辞任を命ずる。

理事会はその全ての資産を清算して、40数年間、世界教会の為に援助してくれた日本の教会の食口達の為に、主な資産を確保すること。その過程において、自分の利益の為に金を盗み取ろうとするなら、神様の呪いがあなたと共にあるでしょう。正しく公正なことをして下さい。これ以上しがみつ

て、食口達の血を吸う指導者達のグループが、教会の資産に欲心を起こさないようにして下さい。そしてその資産は、我々と我々の国の為に苦勞の道を歩んで来た日本の食口に返してあげて下さい。

食口達は自分達の地方、国家レベルの代表者を選ぶことができるし、また選ばれた代表者は、天宙平和統一聖殿の本部に直接出席して、正統な後継者である文亨進世界会長に直接報告することを命ずる。韓国のリーダーを通さずに、直接報告することを命ずる。代表者は韓国人である必要はない。”

(亨進様 2015.2.8)

お母様は亨進様のこの動きを受け、その影響力を封じるために、最後に残っていた亨進様の世界平和統一家庭連合世界会長職を解かれ、善進様を代わりに立てられました。以下、その世界公文です。

公文番号：世家世本2015-23

発信：世界平和統一家庭連合世界本部

発信日：天一国3年天曆1月13日（2015年3月3日）

題目：文亨進世界会長の職務権限停止処分に関する件

各大陸、国家、摂理機関に天の父母様と真の父母様の祝福と愛がともにありますことを祈願申し上げます。

2015年2月26日、真の父母様の命によって下記のように文亨進世界会長の職務権限を暫定的に停止する。

記

1. 姓名：文亨進
2. 職責：世界平和統一家庭連合世界会長
3. 事由：世界会長の職権乱用および教理違反
4. 世界会長の法的権限および教会内で付与された職務権限を真の父母様の命があるまで暫定的に停止する
5. 2015年2月26日付で命じ、処分の施行は2015年1月15日にさかのぼって適用する。以上

世界平和統一家庭連合 世界本部（印）

亨進様は2008年4月18日に世界会長に就任され、この時からお父様の代身者、相続者になりました。世界会長職と代身者、相続者は同義語となります。ですから「文亨進世界会長の職務権限停止処分」は、亨進様からお父様の代身者、相続者の地位そのものを剥奪しようとするものです。

この世界公文は、「宇宙平和統一本部も絶対唯一の本部だ。その代身者・相続者は文亨進である。その外の人とは異端者・爆破者である」という、お父様の直筆宣言文への挑戦であり、お父様の権威と完全に対決する、お母様の「絶対権力」の最大行使と見ることができます。これにより、お母様は完全な「異端者・爆破者」になってしまいました。

2012年8月のある日、お母様が亨進様の頬を打たれた瞬間から、お父様を高めようとする亨進様と、ご自身を高めようとするお母様との善悪分立摂理が開始され、それは基元節をはさんで、この世界公文によって完結したといえるでしょう。

幹部たちの罪

お父様のご聖和を契機に、幹部達の素性が明らかになりました。

“お父様が聖和された後に、直接目撃した内容、この目で直接に確認した内容があります。私達を引き込む為に、買収を試みた中心的な指導者達が文書まで持って現われました。「我々の側に加われ。どっちにしる、あなたの世界になります。あなたが後継者ですから。後継者の権利とこの王国はあなたのものですよ」「とにかくいったん私達の仲間になれ。お母様が霊界に行けば、あなたが好きなように変更すればよい」

これが、私が彼らからもらった助言でした。このような言葉が教会の指導者から出てきたのです。真のお父様が任命された後継者に対する助言の内容がこのような内容です。「政治的な一時的な権力のために、お父様を裏切れ。富を維持し、財団の資産に対して法的権利を維持し、お母様が聖和される時に、思い通りにすればよい」という内容でした。

この指導者達の助言は、「まずはお父様を背信し、その後にお母様の聖和を待ち、お母様も背信しなさい」という内容でした。このような助言を私は実際受けていたのです。これは助言ではなく冒涇です。気が狂っています。正常的な思考ができる人なら、これらは話にもならない内容であり、到底理解できないと思います。私はお父様を売ることはできませんでした。私の勝手の為に、お母様の聖和を待つこともできませんでした。

このような政治的な行為を、教会の指導者達が崇めている内容を改めて見た時に、これは神様中心でもなく、お父様の願いとも、お父様のみ言とも、何の関係もありません。彼らはただ、政治的な勢力を維持することにのみ関心があるのです。それは当然、お金の入手先を操ることだけです。それは悲しいことに、墮落世界の实情と何ら変わりがないのです。墮落世界の方が、規模が大きいという差があるだけなのです。”

(亨進様 2015.1.18)

“それでは、皆さん、お父様の聖和直後、第一の標的はどこだったでしょうか。3つの陰の実力勢力の立場から見て、お父様が作られたこの組織図の問題点はどこにありますか。彼らからすると、問題があります。それは即ち、私でした。問題はここでした。世界宣教本部を除かないといけません。抑制と均衡を除

かないといけません。それさえすれば、お母様さえ押さえて、教会全体を掌握できます。それをやりました。

お父様の聖和直後、大急ぎで、まず国進お兄さんを解雇しようとする動きがありました。何故なら、彼は手ごわい相手です。不正を浄化して、指導者達に責任を負わせませぬ。急いで彼を除こうとするのは当然でした。その次に、私を急いで除こうとする動きがありました。”

(亨進様 2015.1.25)

亨進様に働かれる真のお父様

ヨナ様は、亨進様が幹部達の不正を告発し、お母様の間違いを指摘される強い決意の前に震え、また、その反動として人からの批判を受けることに耐えられない状況でした。

“そこで私は必死になって、お父様にこう祈りました。「もし、夫が間違っているとお考えであれば、どうか彼の夢に現れて教えてあげてください。私の夢に現れて下さっても、彼は説得されないでしょうから。お父様が直接説得して下さい」こうして祈りながら、断食と敬拝の条件を立てました。そうしているうちに、思いがけないことが起こりました。

夜寝ていると、夫が突然私を起こしました。私が条件を立てている期間でした。「お父様がたった今、夢に現れた」というのです。私は興奮して「どんな内容なの」と聞きました。間違っていれば言ってあげてくださいという、私の祈りとか条件については、話していませんでした。

彼の夢はこうでした。車の列があり、先頭の車にはお父様と共に夫と運転手が乗っていました。ちょうど、道が左右に分かれるところでした。お父様が夫の耳に「右に行くように言いなさい」とささやかれると、夫は「右に行け」と言い、全ての車が右に行きました。少し行ってまた交差点に来ると、お父様が「今度は左に行きなさい」とささやかれ、全ての車が左に行きました

お父様は亨進様をメディエーター（仲介者）として使いながら、号令を出しておられたのです。この夢の話をお父様から聞いて、私は諦めました。期待していた答えではありませんでしたが、はっきりとした答えでした。”

（ヨナ様 2015.10.25）

お母様の失敗

お母様は何を失敗されたのでしょうか。

“お父様が私達に王冠を被らせ、世界教会の相続者、後継者に指名されました。しかし、韓オモニと思想的に違いがあったのです。韓オモニが前面に立とうとした時、私たちはそれをやめるように哀願しました。しかし、女王の姿で世界の前に現われました。お父様が病院に入院されておられる時に、もうすでに經典の改変を計画していました。私の実の母であり、愛していますが、責任分担の観点においては失敗です。完全な失敗です。女帝として、最高権力者として、世界の前に登壇するようなことは、思い止まって下さいと願いました。”

（亨進様 2015.10.4）

”お母様は人類史上もっとも偉大な女性と記憶される筈でした。その日（基元節）心の中で「神様を讃えます」とつぶやいていたならば。「世界中の皆さん、主を讃えましょう！その霊は私たちと共にあり、真実です。強く雄々しくありなさい。お父様が共におられるからです」もしこう叫んでいれば、全人類の真の母として全宇宙に記憶される女性となっていたことでしょう。しかし、天使長の誘惑に落ちてしまいました。サタンが回りを取り囲み、誘惑し、操るようになりました。あなたは神だと言って。これほど信じられない悲劇があるのでしょうか。”

（亨進様 2015.10.18）

お母様は母子協助されながら、亨進様を二代王に推戴されるべきでした。亨進様を押しつけて、ご自分が女王に立たれたことが失敗であるということです。分かれ目は2013年2月22日の基元節での出来事ということになります。それまでは、たとえお母様が内的に主管性転倒され、自己崇拜や復讐心を隠しておられようとも、お父様はお母様をお立てになり、真のご父母様としての勝利宣布を何度もされてきましたから、お父様のご存命中は、お母様の失敗はなかったということになります。すなわち、内的な主管性転倒までは許しがありました。外的な主管性転倒にまで至り、ついにお母様の失敗になったということです。

お父様はそのご生涯において、個人から神様に至る八段階の主権をサタンから復帰されました。最後のご祈祷の最後「全てを成した」には、そのような意味があると思います。お父様は八段階の頂点に君臨されて王となられ、その位置は亨進様に二代王として継がれるべきその日、その位置を、お母様が女帝となって強奪されたこととなります。

お母様が叫ばれた「私は絶対権力を持っている！」は、お父様によって神側に復帰されたこの世の主権を、再度手にしたサタンの、抑えきれない叫びであったと思います。だからこそ、「その外の人とは異端者、爆破者である」とお父様は書かれました。亨進様を押しつける者の正体は、神様の摂理を爆破し、その破壊を目的とする異端者サタン、その人であるからです。

偽りの祝福式

基元節は「天地人真の父母聖婚式」であり、全ての教会員はこの日の「天一国基元節入籍祝福式」に同参しました。ところが、この時のお母様は真の母の位置を離れ、お母様をお父様から引き剥がした悪なる天使長と一つになっておられる状態だったというのです。この祝福式に同参した教会員は全て、サタン勢力下に取り込まれてしまったそうです。ですから、サンクチュアリ教会では、サタン勢力下から真のお父様の権威の下に再び戻る事ができるという祝福式を随時、執り行っているそうです。

“特に世界中のほとんどの祝福中心家庭は、天使長主管圏内で行われた2013年2月22日の「基元節祝福式」に誤導されて参加されました。この偽りの祝福式に参加した全てのカップルは、真のお父様の権威の下に再び戻るために「真のお父様の権威の下に戻るための聖婚祝福」に参加する必要があります。”

(サンクチュアリ教会)

また、基元節以降に祝福を受けた二世家庭は、それが真の母の位置を離れたお母様による偽りの祝福式であった為に、大きな問題があるそうです。該

当する二世祝福家庭はサンクチュアリ教会の祝福を受ける必要があるとのこととです。

“これは特に二世家庭、2013年以降に初めて祝福を受けた二世家庭に該当する内容です。2013年2月、その時、家庭連合では基元節だと言って偽基元節を迎え、偽祝福式を行いました。その行事以降に行われた家庭連合の偽祝福式に参席し、そこで初めて祝福を受けられた二世家庭達は、2016年2月13日までに真のお父様の権威に戻る祝福を受けてこそ、二世家庭の位置を保つことができます。(中略)

何故なのかという質問を時々受けます。その行事には神様がいらっしゃいませんでした。お父様もいらっしゃいませんでした。その行事はなぜ偽物なのかということは、二代王が説教を通して説明されましたが、韓氏オモニが祝福をお一人で主礼される権限もなく、またサタンとひとつになって行ったものであり、お父様とひとつになってされたものではない。それはサタンが主管する中で行われた行事なので、そこに参席した二世家庭達は神様の祝福を受けられませんでした。祝福を受けないままに家庭出発し、夫婦として性行為をすれば、これは何でしょうか？墮落です。

騙されてそうなったのですが、結果をもって話すならば墮落に間違いありません。神様の祝福を受けずに夫婦関係を持ったので、このような方達をどうにかして救ってあげたい、救う道はないかと考えられ、二代王が与えて下さった恩恵であり、この日までにお父様の権威に戻る家庭は被害者として扱い、二世家庭の位置を保ち、その間に生まれた子供達も、三世の位置を保つことができるようにして下さるものです。”

(ティモシー・エルダー サンクチュアリ教会宣教本部長 2015.10.21)

祝福家庭と二世の消滅

サンクチュアリ教会の祝福式に関連して、重要なお知らせが発表されました。

【緊急のご案内】

2015年12月20日に亨進二代王様が語られたみ言を以下にお伝えいたします。
天基7年天曆1月6日（陽曆2016年2月13日）までに、お父様の権威に戻るための祝福式を受けない場合、以下のようになります。

①2013年以降の家庭連合による祝福式を通して婚姻関係を持った二世は一世となります。

②基元節の祝福式に参加した一世は、祝福中心家庭ではなくなります。

まだ、お父様の権威に戻るための祝福式を受けられていない方は、2月13日の祝福式に参加されるか、至急個別に受けられるよう、お知らせいたします。

（日本サンクチュアリ協会 2015/12/23）

“現在、ご聖和以前に行われた祝福式を通して祝福を受けた1世が、「真のお父様の権威に戻るための祝福」を受けると、祝福後の40日聖別期間と三日行事のやり直しは必要ありません。

この恩恵は天基7年天曆1月6日（陽2016年2月13日）でもって終わります。
その日以降に「戻る祝福」を受けられる1世家庭は、祝福後40日の聖別期間と3日行事のやり直しが必要となります。

2013年当時に、「全ての家庭が基元節の聖酒を飲んで祝福に参加するように」との指示が出ていたことを考えると、事実上、全ての1世が今回の期限内に該当するものと考えられます。2013年の偽基元節に参加しなかった、その聖酒も飲まなかったなど、関連されなかった家庭は該当しません。”

（ティモシー・エルダー サンクチュアリ教会宣教本部長 2015.12.24）

お母様の失敗を蕩滅復帰なさるヨナ様

お父様を高めることができず、お父様の相続者である亨進様を二代王としてお立てになることができなかったことが、お母様の失敗になりました。それを蕩滅復帰するためには、真のご父母様の相続者である亨進様ヨナ様ご夫妻におかれて、ヨナ様が亨進様を高め、更にヨナ様が、亨進様の相続者である信俊様を三代王として完全にお立てになることが必要になります。

“私が真の父母の代身者、相続者として妻を立てて、お父様が立てられた血統の三代王権を立てておいて、妻は真の母と真の女性の位置で、お父様が願望された秩序と三代王権の前に敬拝をしました。お母様ができなかったこと、失敗されたことを、妻は象徴的に条件を立てて行いました。自分の子供の前に敬拝しました。

お父様が願われたので、私が死ぬ時に「三代目代身者、文信俊億万歳！」と言える女性にならなければ、食口たちに「石を投げつけて私を殺して下さい」と言った女性です。真の王妃と、真の母と、真の新婦と、真の女性の姿を、天の前に捧げました。それは、お父様が立てられた三代王権の永遠の勝利となります。アージュ！

これからは天一国女性の姿がどういう姿なのか、はっきり見ることができ
る歴史が始まるのです。偽りの女性のように「男たちは退け、私が上からお前
たちを踏みつけてやりたい、私達は金と権限を追求する、皆が私達に敬拝す
る」という、こんな詐欺ではない、詐欺サタンではない、真の女性。天の父
が願われる、み旨の前に自分を捨てて、自分の欲心と虚栄心を捨てて、お父
様のために死ぬる女性、真の女性。歴史に残る女性。英雄的な女性。お母様
がそのようにされていたならば、天一国の祝福の歴史が、地上天国建設の祝
福の歴史が来たでしょうに、お母様はその責任を失敗されて、これから世界
審判の蕩滅が来ます。

しかし、お父様が直接選ばれた三代王権の秩序が正しく立ったので、その
位置に、真の父母の代身者、相続者として妻の位置、母の位置として、お父様
の三代の種（子孫）の前に敬拝したので、これからは天運が大きく変わり、
直接主管圏で、お父様の聖霊の役事が私たちに直接降りてこられる、驚くべ
き役事を私たちは経験して、直接目で見ることになるでしょう。アージュ！”
(亨進様 2015.6.2)

宣布による勝利圏の保護

お母様の失敗は、お父様ご存命期間中の真のご父母様としての勝利圏を侵害
しないとのことです。お父様は復帰の過程で宣布をされることにより、サタ
ンの侵入を防いでこられたそうです。

“お父様は、たまにこのようなことをおっしゃいます。ノアがもし原理を知っ
ていたら、次のように家族の前で宣布をしなければならなかったそうです。

ノアは40日の洪水審判が終わった時に、家族を呼んで集めておいて、「お
前たちは聞きなさい。私が今120年間苦勞して、40日洪水審判に勝利したこ
とを宣布するのであるから、お前たちの中でどんな過ちを犯しても、それは
私が40日洪水審判を勝利したこととは、何ら関係がない」と宣布しなければ
ならなかったのです。

そうしていたら、たとえ家族の誰かがある犯罪行為を犯しても、40日洪水
審判の勝利は侵入することができないので、復帰するにおいて、かなり蕩滅
条件が軽くなることができたのです。そんな宣布をせずに、40日洪水審判ま
でもサタンに侵入されてしまいました。（中略）

お父様が大会を通じて宣布をなさることは、神様に、「私はここまで勝利
しました！」と報告を捧げることで、それはサタンにも、「私がここまで勝
利したから、お前はこれ以上は侵入できない」という宣布にもなるそうで
す。”

(史吉子先生 「原理に関するみ言の証」 296頁～)

お父様は間近にご聖和をお控えになり、お母様及び幹部達に絶対服従を命
じて誓わせ、それを最後の条件として、更に宣布をされながら、ご聖和ぎりぎ
りまでの勝利圏を封印していかれたのだと思います。

「天地人真の父母定着実体み言宣布天宙大会を最終完成、完結することを
お父様の前に奉獻しますので、お受け取り下さい」とお祈りされた、4.14のラ
スバガス天和宮での「特別宣布式」がそれであり、7.16の清平平和ワールドセ
ンターでの「アベル女性国連」創設大会は、その位置から崩れ落ちそうにな
るお母様を総裁にまで推戴し、渾身の力を振り絞られる、お父様最後の宣布

となりました。そして、最後のご祈祷「全てを成した」により、真のご父母様としての一切の勝利圏を、サタンの侵入から保護されたのだと思います。

基元節で王の位置をお母様に奪われてしまいましたが、真のご父母様の相続者として亨進様ヨナ様ご夫妻が立たれたので、その保護された勝利圏は、全て、亨進様ヨナ様ご夫妻に相続されたということになります。

悪に立ち向かう亨進様

亨進様はお父様の相続者として、先頭で悪に立ち向かい、その責任を果たされます。

“今週のある日、真のお父様が私に臨まれた事を強く感じました。「私がお前に下した位置を恐れてはならない。お前に与えた後継者という位置は、お前自身がお前に与えたのではなく、私がお前に与えたのである」とおっしゃったのです。また、「お前がお前の相続権を宣布する時は、お前は私がお前に与えた任務を、完全に受け入れた立場に立つのである」ともおっしゃいました。

私は他の人の悪口を言ったりするのを、楽しんだりはしません。しかし、今のような時期に、このような責任を持っている私は、悪の勢力に立ち向かって、戦わなければならないのです。なぜなら、この戦いは私自身の戦いではないからです。後継者としての責任は、私が私自身に与えたのではないからです。その後継者としての責任はお父様が下さったものだからです。”

(亨進様 2015.2.8)

亨進様は、日本人に立ち上がるように呼びかけられました。

“日本の兄弟姉妹の皆さんに申し上げたいことがあります。あなた達は武士道精神を持っています。実際に先祖の中にサムライがいる方もいらっしゃるでしょう。私は武道家なので私自身もサムライの戦士です。そして、神様が皆さんを武士道精神である忠義と名誉の為に生きるように準備された理由が、メシヤを迎えるためであったことを知っていますか。それは救世主メシヤを守る為です。なぜなら、あなた方が真のメシヤに会うと、地上天国を建設することができるからです。それがあなた達の血液の中に流れている文化ではないですか。皆さんはお父様のみ言には従うし、全世界を開拓してきたのではないですか。母の国であるがゆえに、何かあっても真の主体である真のアダムに絶対服従してきたのです。たとえ世界中の食口がメシヤに反対しても、日本食口の皆さんだけはそうすることができません。皆さんはサタン世界に立ち向かっていかれるのです。

真のお父様が日本食口の皆さんをどれだけ信頼してきたのかよく分からないのですか。あなた達は天使長達が教会組織を支配しているのを知っているでしょう。彼らがお母様をだましているのを知っているでしょう。しかし、あなた達は黙って静かにしています。それはサムライの姿ですか。そうではありません。武士道精神によると悪に対して沈黙したら切腹しなければならないでしょう。なぜなら、それは主に対して不名誉な姿だからです。

もし、あなた達の先祖がサムライであれば、自分の主君が悪者にだまされたとしたら、そんなに簡単に諦めていないでしょう。まして、メシヤに対してはどうですか。命をかけてもメシヤを守るのではないのですか。”

(亨進様 2015.2.22)

最後に

文亨進様は、アメリカ ペンシルバニア州 ニューファンドランド（見出された地）で、真のお父様のみ言と伝統を守り、栄光を高く掲げようと、涙、涙、涙の精誠を捧げて来られました。

そして、昨年1月18日、突然、「沈黙を破って」と題する説教を皮切りに、悲しく、信じ難く、驚愕せざるを得ない真のお父様の聖和前後からの真のお母様とその周辺についての隠された事実を語り始められました。

それから、昨年、天曆7月17日（陽曆8月30日）、国進様と亨進様がひとつになられて、真のお父様の聖和3周年を懇ろに侍奉された後、万王の王真のお父様に継いで第二代王として亨進様が立たれて、三代王権の新しい摂理時代が出発致しました。

霊界にいらっしゃる万王の王のお父様と地上の亨進第二代王様が完全にひとつになられて、真のお父様の権威の下に戻る祝福式と210代先祖解怨及び先祖祝福式等々を通して、多くの役事が展開され、天運の下、新しい摂理時代を担う勇士、烈女が召命されてきました。

真のお父様は、来る天曆7年1月6日（陽曆2月13日）、真のお父様の御聖誕記念日までに、再臨主、メシア、救世主、人類の真の父母、平和の王を信じて全てを捧げて同苦の摂理路程を歩んできた者たちに、最後のチャンスを与えられておられます。神様、真のお父様の下に戻ってきて、永遠に共に行こう、共に住もうと役事されて居られます。

皆様、真のお父様の下に戻る祝福を受けられて、真のお父様の所に帰ってきてください。「帰れわが子よ！」と、お父様は待っておられます。

2016年1月27日

日本総会長 江利川安栄

